

## 平成 28 年度（2016 年度）吹田市ケアネット実務者懇話会作業部会検討内容・スケジュール（案）

検討内容	(1) 医療・介護資源の把握	(2) 医療機関と地域連携のルールづくり	(3) 多職種連携研修会	(4) 地域住民への在宅療養に関する普及啓発
該当する国の事業	(ア) 地域の医療・介護資源の把握	(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	(カ) 医療・介護関係者の研修	(キ) 地域住民への普及啓発
目的	医療や介護が必要になっても安心して暮らしていける地域に向けた、現在の地域の医療・介護サービス資源を可視化することで、 <u>住民及び医療・介護関係者が活用することができる。</u>	<u>医療・介護関係者等が情報を共有し、切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築を図るための具体的な手段を検討する。</u>	<u>医療・介護関係者等の多職種が共通の課題や状況を理解し、解決のプロセスを共有しながら課題解決の手法を学ぶ。</u>	<u>住民自身が定期的な医療・介護サービスが必要になった場合や人生の最終段階において、様々な選択肢の中から適切なものを選び決定できる視点や力を持つことができる。</u>
内容	1 介護事業者の所在地、連絡先、機能等の情報収集 2 介護資源のリストの作成と活用 (医療資源の把握は地域医療推進室が担当)	1 各関係機関の現状を報告し、問題点を明らかにすることで連携可能な方法を探る。 2 連携のためのツール（利用者情報提供書、相談窓口表、挨拶状）の見直し 3 病院内の連携で退院時支援が必要なケースの院内連携方法	1 多職種協働による課題解決のためのグループワーク 2 医療・介護関係者にとって必要な知識や技術・技能の研修	在宅療養に関するリーフレットの作成
構成員（候補）	居宅・（訪問介護）・（通所介護）・地域包括・（地域医療推進室）	医療機関・居宅・訪問看護・訪問介護・地域包括・（地域医療推進室）	医師会・歯科医師会・薬剤師会・医療機関・居宅・（訪問介護）・訪問看護・小規模多機能型・施設・地域包括・（地域医療推進室）	（医師会・歯科医師会・薬剤師会）・医療機関・居宅・（訪問看護）・地域包括・（地域医療推進室）

<b>検討内容</b>	(1) 医療・介護資源の把握	(2) 医療機関と地域連携のルールづくり	(3) 多職種連携研修会	(4) 地域住民への在宅療養に関する普及啓発
<b>該当する国の事業</b>	(ア) 地域の医療・介護資源の把握	(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	(カ) 医療・介護関係者の研修	(キ) 地域住民への普及啓発
<b>作業部会(第1回)</b> 10月	① 介護資源の把握項目 ② 把握方法	① 院内連携の現状把握 ② 介護事業者側からの要望	① テーマの決定 ② 講師決定 ③ 研修会開催日の決定	① 面(構成)の確認 ② 内容(項目)の検討及び担当者の決定
<b>作業部会(第2回)</b>	11月 ① 把握項目の確認 ② 把握方法の具体化	11月 第1回の現状把握、要望を受けて改善方法を決定	11月 ① 事例候補 ② 関係機関への周知等	12月 構成及び各項目(作成案)の検討
<b>多職種連携研修会</b>			平成29年1月頃	
<b>作業部会(第3回)</b>	平成29年1月 ① 介護資源の現状把握 ② 課題の検討	平成29年1月 第2回の方針を受けて実施結果報告、新たな課題の確認	平成29年2月 ① アンケートからのふりかえり ② 次年度の企画(案)	平成29年1月 リーフレット(案)の決定
<b>構成員</b>				
<b>事務局</b>	続(高齢福祉室)・奥村(山田地域包括支援センター)	西堀(総合福祉会館)・馬嶋(高齢福祉室)	重光・伊藤(高齢福祉室)	林(内本町地域保健福祉センター)・川口(岸部地域包括支援センター)